

地方から政治を変えよう

— 後援会活動が活発化 —



決意を語る役員の方々 — 成田国際文化会館

2月26日、成田市内において、成田空港騒音被害訴訟団の結成式が行われました。裁判の目的は、午後9時から翌朝7時までの間、一切の航空機の離発着を差し止めること、損害賠償を求めるものです。

原告は、千葉県芝山町、成田市、横芝光町および茨城県稲敷市に居住する約130名で、被告は、成田空港株式会社と国としています。

成田空港騒音被害訴訟団結成

子孫が安眠できる環境を残したい

これによると飛行禁止時間は、午前1時から5時まで、一日のうち4時間のみになります。

原告の住民らは、十分な睡眠がとれず健康が保てない、生活できないと訴えました。

成田空港の離発着制限は、現在午前0時から6時までの6時間ですが、空港会社は2030年から実施を予定している機能強化策の一つに、飛行可能時間の拡大をあげ、



「富里市政に豊かな未来と活力を！」をキャッチフレーズに40歳の若い力を発揮します。後援会事務所を（富里市大和758-1）に開設しました。

岩田かつひこ 富里市

岸田政権は、軍事費を2倍に増やして世界第三位の軍事国家にする事を決定しました。その財源には増税をもちろんでいます。

一方「異次元の少子化対策」を行うと繰り返していますが、その財源など詳細については何も明らかにしていません。

党本部は、地方から政治を変えようと、5名の立候補予定者を擁して取り組んでいます。



2期目をめざします。後援会事務所で合同選対結成会議が開かれました。

稲田としあき 佐倉市議



秋鹿幹夫 横芝光町議

3期目に向けて、町民・支持者の要望を聞いて歩いています。



2月1日、習志野市鷺沼1-17-18に後援会事務所を開設しました。

藤崎ちさこ

習志野市長に挑戦します。

藤崎ちさこホームページ⇒



佐藤まり

藤崎ちさこ市議の後継として習志野市議に挑戦。



TWITTER ⇒
⇐ LINE



四季へのいざない
パック詰まきゅうくつさうな蜆かな
水明

筆者が高校生の頃（もう五〇年も前になるが）利根川の中州あたりでは、よく蜆が採れた。ある日、友達の手漕ぎボートをもっていたので、そのボートに乗り中州まで蜆を探りに行った記憶がある。バケツ一杯は採れたと思う。さっそく家に帰って蜆汁を作ってもらった。その旨いこと。今でもその味は忘れられない。まさに昭和の味、春の味、庶民の味である

12月から何しようかなど考えて、求人情報（雑誌）を手にとり、まず、字が小さすぎ、書いてある労働条件なら「こんな求人はないな」と思った

朝は時間（出勤）を気にせず起きて、朝ご飯はコンビニメニュー自作（ほとんど熱湯とレンジ使用。これも

サンデー毎日「旅」で満喫

歩以上歩く60ポイント。一週間280ポイントになるとコンビニでペットボトル1本と交換出来るから。だけではないけれど一つの楽しみ。交換するのにコンビニ往復散歩で歩数アップ。

サンデー毎日だけでなく、歩けなくなったら終わりと考えながら今日も近所を「旅」する。

退職前から欠かさず続けている散歩は1日1万2000歩。根拠は生命保険のアプリで1日1万2000



昨年の11月末で再雇用（5年）も退職。この間、勤務時間が何度も変更され、退職間際になると、夜勤明けに勤務指定（10時30分まで、会議などあると12時まで）や連夜（夜勤明けに夜勤）や3連夜が当たり前指定されるようになった。

そのタイミングで退職。退職当日「退職後何かするの？」と聞かれたので「何もない」と答えたら、「サンデー毎日」

なると思っていたが実際に退職前から欠かさず続けている散歩は1日1万2000歩。根拠は生命保険のアプリで1日1万2000



一つの楽しみ）または、前日の夕飯の余り物。次にテレビ。10時頃〜12時頃に1時間〜2時間、これも一つの旅だと考えながらの散歩。毎日同じようなルートを「旅」するが、少しずつ変化もあり、新たな発見もある。近所を「旅」しながら考える事は今日の昼食。昼食後は午睡か散歩を選択。こうした日常になると思

【菊地】